

令和3年度 地域活性化活動助成事業

「ピアノとマンドリンの調べ」

- 1 日時 令和3年10月7日（木） 10時40分～
- 2 場所 下関市立川中中学校アリーナ
- 3 後援 山口県教育会
- 4 講師 ピアニスト 夏川由紀乃 様
マンドリニスト 高橋 和彦 様

プログラム

1.川中中学校校歌

2.C.ムニエル／スペイン風奇想曲

3.音楽の授業メドレー

滝 廉太郎/花

荒井由実/ひこうき雲

大瀧詠一/君は天然色

J.レノン&P.マッカートニー/Let It Be

E.デ・クルティス/帰れソレントへ

4.桑原康雄／「じょんがら」より

5.W.A.モーツァルト／トルコ行進曲

6.F.ショパン／練習曲ハ短調Op.10-12「革命」

7.川中中学校スペシャルメドレー

8.A.ピアソラ／リベルタンゴ



1～3、7、8：マンドリン&ピアノ
4：無伴奏マンドリン
5、6：ピアノ・ソロ

生徒の感想より

☆ マンドリンのことを全く知らず、「どんな音だろう」と楽しみにしていたら、ピアノとマッチする音で衝撃だった。しかも、様々な奏で方があって、視覚でも楽しめ、充実した時間になった。一番初めの「川中中学校校歌」のアレンジは印象が強かった。自分たちの歌っている校歌も編曲したらこんなにも印象がかわるのかと、曲のすごさに改めて気づいた。自分はピアノに限らず、様々な楽器の演奏も好きなので、また Youtube で色々と聴きたいと思う。今日は「じょんがら」が印象に残った。今回初めて聴いた曲だが、マンドリンの独奏であんなに小さい楽器からこんな音が出るのかと興味をもった。今はコロナ禍で受験もあるのですが、素晴らしい演奏のおかげで頑張れそうです。これからも頑張ってください。(1組男子)

☆ 私が一番印象に残っているのは、モンティのチャルダッシュです。この曲をバイオリンで弾いている人の動画を見て、とても感動し、頭から離れませんでした。マンドリンのために作られた曲ということも知っていたので、今日聴けるだろうと楽しみにしていました。聴いてみて、マンドリンの曲だということを実感しました。バイオリンではなめらかで流れるような曲だと感じましたが、マンドリンの1音1音が短いという特徴が生かされていて、特に速い部分では、他のどの楽器でも感じられない胸の奥に音が落ちてくる感覚がしました。のびる部分では高橋さんの手先の使い方の上手さが出ていて、全部聴き終えた後は、自然と拍手したくなりました。マンドリンやピアノの曲に触れ、これからの人生を豊かにしていきたいです。音楽を楽しむということは本当に素晴らしいことだと思いました。(2組女子)

☆ 今回初めて生演奏を聴くことができました。最初の校歌から「こんなに曲の雰囲気を変えても、同じ曲だと伝わってくるなんてすごい!」と心をつかまれました。お二人の演奏する姿は、楽器が身体の一部であるかのようになめらかで、時に激しく、迫力のあるものでした。生で聴く演奏は、一つ一つの音が体に響いてきてゾクゾクしました。知っている歌も知らない歌もあったけど、楽しそうに演奏されているお二人を見ていると、僕も楽しかったです。これからの長い人生、もっといろんな音楽に触れてみたいと改めて思いました。(3組男子)

☆ 夏川さんと高橋さんの息が合っていてすごいなと思いました。夏川さんのピアノの音色がとてもきれいに奏でられていたし、高橋さんのマンドリンはとても繊細できれいだったのでとても感動しました。マンドリンの音を引き立てるためにピアノの音を小さくしたり、抑揚がついていて、私も夏川さんのように表現力を高め、他の音もしっかり聴いて合わせられるようになりたいと思いました。弦楽器を弾くのはとても難しいし、手先が器用ではないと駄目なので、とても尊敬しています。私はギターを弾いたことがあるけれど難しく弾けませんでした。手はとても痛くなるので弾くたびに大変でした。こんなにマンドリンをきれいに奏でられるのは今までの努力の証なんだと思います。私は音楽が好きなので、これからも続けていきたいし素晴らしい演奏をこれからも聴き続けていきたいと思えます。私の好きな曲ばかり弾いてくださってとてもうれしかったです。改めて音楽の楽しさに気づきました。(4組女子)



☆ 最初の川中中学校の校歌の編曲がとても素敵でした。校歌はリズムも音も難しいことに対して編曲したおだやかな癒し系の曲がとても感動しました。7番目の川中中学校スペシャルメドレーでは私たちに合った内田先生の選曲でした。曲が絵として出てきそうな表現力で、とても心温まる曲たちばかりでした。内田先生の選曲もあって、私たちに対する思いが込められているのではと感じました。ピアノで強弱を表現することができるのはとてもすごいと感じました。強弱をつけることで曲がより成り立ち、素敵と感じられるのだと気づかされました。マンドリンという楽器をつかって演奏されるのも、手先が器用でないと演奏できないすばらしい技術だと思いました。このことから、音楽鑑賞をしている時にも、学ぶことがたくさんあると改めて知ることができました。これから、音楽に関わることが多くなると思うので、もっと表現力を生かしたいと思いました。(5組女子)

☆ 川中中学校の校歌、編曲バージョンはびっくりした。校歌がまさかあんなにもあたたかみのある曲に変わるなんて、校歌を編曲バージョンで歌いたいと思ったほど、すごかった。音楽の授業メドレーでは、「ひこうき雲」と「君は天然色」をよく覚えている。この曲は「あたたかい」「やさしい」「ふわふわ」などのイメージがあった。ピアノの入りでもう心をつかまれた。CD などとは全然ちがう夏川さんの優しさが音に出ていてジーンときた。高橋さんのマンドリンでメロディーを演奏している時、マンドリンの高い音の入りからの盛り上がりで立ち上がりたくなる演奏だった。夏川さんのピアノソロの「トルコ行進曲」では、にこにこされて鍵盤を弾く姿を見て、本当にピアノが好きなんだと思った。今日の演奏を聴けて本当によかった。(6組女子)

